

別添

## ① 歩行者教育シミュレータ



3画面に映し出された道路に向かって、危険を予測しながら道路を横断する訓練。受講者がその場で手振り足踏みすることにより、センサーが反応して画面が進む。

## ② 歩行者教育システム



道路状況をスクリーンに投影し、左方向から近づく車に注意を払いながら、道路に見立てたマットの上を実際に歩く横断訓練。(会場のスペース8 m以上必要)

### ③ 動画KYT（危険予測トレーニング）



スクリーンに投影されたドライブ画像を見ながら、運転者ではなく、同乗者の目線で危険を予測する事故防止訓練。

### ④ ドライブシュミレータ（旧型）



液晶画面に映し出される画像を見ながら、危険を予測しながら運転する訓練。受講者は実際にハンドル・ブレーキの操作をして運転。

## ⑤ ドライブシミュレータ（新型）



3画面に映し出される画面を見ながら、危険を予測して運転する訓練。  
受講者は実際にハンドル・ブレーキを操作して運転。  
※上記機材はスタウス(高齢者交通安全教育 隊)専用機材

## ⑥ 自転車シミュレータ



画面に映し出される画面を見ながら、危険を予測して運転する訓練。  
受講者は実際にハンドル・ブレーキ・ペダルを操作して運転。